参考資料:インフラストラクチャー研究所業務引継資料

・インフラストラクチャー研究所 年次報告書 · · · · · · · · · · · ·	1
・RCCM CD-ROM作成・修正作業手順・・・・・・・・・・・	3
・RCCM資格試験関連引継メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
・業務・研究発表会関連引継メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
・インフラストラクチャー研究所の自主研究テーマについて・・・1	0
・インフラストラクチャー研究所 年間活動内容・・・・・・・・ 1	1
・社会資本整備のあり方検討WG・・・・・・・・・・・・・ 1	2

10 インフラストラクチャー研究所

1. インフラストラクチャー研究所の予算

予算: **, ***, ***円

2. 主な活動の記録

(1) 知的所有権の研究

当研究所においては、平成 13 年度に「知的 所有権研究会」を設置し、これまで建設コンサ ルタント業務と著作権の関わりについて検討を 重ねるとともに、協会会員の著作権に対する認 識の共有化を図るための支部勉強会等を行って きた。

平成18年度は、これまでの成果を集大成し、 建設コンサルタント技術者のための知的所有権 に関する解説書「建設コンサルタントと著作権」 の編集・発行を行った。

(2) 技術者資格システム (EQS) の研究

学職経験者の参画のもとに研究会を4回開催 し、今後の建設コンサルタント技術者の新しい 分野における資格のあり方の一環として、「地域 経営」に求められる能力・知識について研究した。

地域経営セミナーを8月22日~8月26日の 5日間、新潟県佐渡市に滞在して開催した(参加者数50人)。地域(住民、NPO、行政)の方々 を交えて地域の活性化へ向けた課題を議論し、 最終日には成果を佐渡市民の方々へ提案した。

また、セミナーを補完するため、地域づくり・ まちづくりに関わっていく上で必要な基本的知 識・概念の習得を目的とする地域経営学講座を 2回開催した(参加者数79人)。

(3) 継続教育制度の研究

CPD 制度の充実・活用促進に向け、実施されている CPD プログラムの分析や実際の活用状況を踏まえて、技術者への継続的な研鑽の必要性や幅広い活用の促進について研究を行った。

また、技術者の習熟度に応じた研鑚のあり方 や不足している教育分野の充実について、実際 の事例調査を行った。 CPD 制度の円滑な運用を図るため、必要に応じて講習会等を開催した。新たに CPD 委員会内に設置された専門委員会に参加し、過年度のCPD プログラムの情報を提供するとともに、プログラムの調整等を行った。

(4) 瑕疵担保責任等に関する研究

瑕疵担保責任に関する資料の収集整理等を行った。また、これに関連して平成17年度に設置した「契約約款研究会」において、現在の契約約款に対する意識や考え方、問題点を把握するため、会員企業を対象に瑕疵担保責任、著作権、再委託等に関するアンケート調査を実施した。その結果等を踏まえて、学識経験者を交えて契約約款の改訂に向けての検討を行った。

(5) 社会資本整備に関する研究

社会資本整備を推進することの重要性と、建 設コンサルタントの役割について広く国民に伝 えることを目的に、企画委員会と協働で社会資 本整備に関する一般市民向けリーフレット原案 の制作に携わった。今年度は「生命を守る」の シリーズテーマのもと、『大雨・洪水』『地震』 『土砂災害』『交通事故』の4種類を制作した。

(6) 「業務研究発表会」の開催

7月27日にインフラストラクチャー研究会 と共催で「業務研究発表会」を開催した(発表 件数24件、参加者数260人)。

3. 次年度の活動について

- 技術者資格システム(EQS)研究会の H17,H18 の成果のとりまとめ
- まちづくりに必要な知識・概念の習得を目的 とした地域経営学講座の開催
- 契約約款の改定に向けての検討と講演会等の 啓発活動の実施
- 社会資本整備のあり方に関する研究の継続および新たなプロジェクトの発掘・構築

(インフラストラクチャー研究所 山本 和史)

参考資料:業務引継資料 - 1 -

10 インフラストラクチャー研究所

1. インフラストラクチャー研究所の予算

予算: **, ***, ***円

2. 主な活動の記録

(1) 技術者資格システム (EQS) の研究

学識経験者の参画のもとに EQS 研究会を2回 開催し、今後の建設コンサルタント技術者の新 しい分野における資格のあり方の一環として、 「地域経営」に求められる能力・知識について研 究した。

地域経営セミナーの受講生の知識の拡充を主 目的とした地域経営学講座を4回開催した(参 加者数:計135名/全4回)。

また、地域経営セミナーの受講生(約90名) を対象にアンケートを2回実施し、地域づく り・まちづくりを担う専門家の更なるスキルア ップのための研修に関する意識調査を行った。 この結果を、今後の研修の企画・検討のための 基礎資料とした。

また、前述のアンケートの結果に基づき、地域経営アドバイザー養成のアドバンストコースの「実験プロジェクト」という位置づけで、経済の停滞や少子高齢化等の問題を抱える中山間地域へ赴き、地元の町役場や住民とともに四面会議システムを使って将来計画のたたき台をつくる研修を行った。

(2) 契約約款に関する研究

平成17年度に設置された契約約款研究会と 協働し、前年度に実施した契約約款に関するア ンケートの回答結果等をもとに、学識経験者を 交えて、契約約款の改定に向けての検討を行い、 現在広く使用されている標準契約約款の改定案 を作成した。

また、啓発活動の一環として同研究会主催の 講習会を11月14日に開催し、『建設コンサル タントに求められる能力』をテーマとした講演、 および研究会の活動報告を行った(参加者数: 77名)。

(3) 社会資本整備に関する研究

前年度より継続して、企画委員会の社会資本整備のあり方検討WGと協働し、社会資本整備を推進することの重要性と、建設コンサルタントの役割について広く国民に伝えることを目的とした一般市民向けのリーフレットの制作・発行を行った。「生命を守る」をリーフレットの基本テーマとし、『大雨・洪水』『土砂災害』『交通事故』『地震災害』の4種類を制作した。

(4)技術者の教育訓練に関する研究

建設コンサルタント技術者がより広い分野で 活躍できるための技術情報を提供する方策につ いて研究した。

RCCM登録更新講習会の講演内容を、「RC CM登録更新講習会 講演録」としてとりまと め、建設コンサルタント技術者に向けた教育訓 練の一環として還元する取り組みを行った。

また、CD-ROM専門委員会と協働で、R CCM登録更新講習会で配布する自主学習教材 のCD-ROMを作成した。

(5) 「業務研究発表会」の開催

7月26日にインフラストラクチャー研究会と 共催で「業務研究発表会」を開催した(発表件 数:26件、参加者数:260人)。

3. 次年度の活動について

- ・地域経営に携わる技術者の育成のためのテキストの作成
- ・地域経営アドバイザー養成のアドバンストコースの実施
- ・四面会議システム解説書の発行
- 契約約款の改定に向けた取り組みと講習会等の啓発活動の実施
- ・社会資本整備のあり方に関する研究の継続および新たなプロジェクトの発掘・構築

(インフラストラクチャー研究所 山本 和史)

文責:インフラ研 丹羽

RCCM CD-ROM作成·修正作業手順

- ①各委員会に修正の有無等確認 → 修正事項はPPT等にて
- ②修正事項をCD-ROM委員会にて審議 → 審議後、修正事項最終版提出
- ③修正事項最終版に基づき、画面修正および録音作業
 - ・画面修正:外注に依頼。修正箇所の出来をチェック
 - ・録音:外注に依頼。協会会議室にて実施するため立会い
- ④修正された画面と、録音内容の整合確認作業
 - 整合作業:外注に依頼。動作確認
 - 使用する画像や図面の著作権処理:
 - ・著作権処理:著作権を持つ団体(または個人)に<u>電話連絡</u>し、使用目的や発 行部数、引用する画像や図面を伝え、文書が必要な場合は<u>依</u> 頼文書を提出。(具体の依頼文書例は資料-1 参照)
- ⑤整合確認済みデータをもとに、各担当の委員会にチェック依頼
 - ・著作権法上問題が発生した場合、報告し対応を協議
 - ・動作確認の依頼(具体の依頼例は資料-2参照)
- ⑥修正箇所すべてを反映したプログラムの動作確認
 - ・プログラム全体の動作確認
 - ・メニュー画面の誤字脱字
- ⑦修正を踏まえた手引書、アンケート、CDジャケットの修正

関係するデータは、

¥¥jcca01¥#インフラ研究所¥RCCM-CDROM¥平成 20 年度 に収録

参考資料:業務引継資料 - 3 -

資料-1

平成 20 年 7 月 25 日

社団法人 日本河川協会 会 長 椎貝 博美 殿

> 社団法人 建設コンサルタンツ協会 副会長 奥野 晴彦

出版物の転載について (お願い)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、社団法人建設コンサルタンツ協会では平成3年度から、当時の建設省の重点施策であった建設コンサルタント業務の管理技術者・照査技術者に関するRCCM資格制度を創設し、更新を前提とした登録制度を採用し、4年に1度の更新登録にあわせて講習会を実施しています。RCCM受講対象者の増加や建設関係学協会の継続教育システム整備の動向から、更新講習会の方法の転換を図る必要が迫られ、一昨年度から将来のeーラーニングへの対応も配慮したCD-ROM 教材配布による自宅学習を取り入れており、今年度も協会会員技術者により、自宅学習用CD-ROM 教材を作成することを考えております。

教材の作成にあたりまして、貴機関発行の出版物から、内容の一部を転載させていただければと存じます。

つきましては、ご多忙のところを誠に恐縮ですが、転載許可を賜りますよう、よろしく お願い申し上げます。

敬具

記

1. 転載希望文献名

日本河川協会編:改定 解説·河川管理施設等構造令 平成 12 年 1 月

2. 転載希望箇所

- · p.289 図 8.4
- · p.290 図 8.5

3. 掲載先:

社団法人 建設コンサルタンツ協会

平成 17 年度 RCCM 登録更新講習自主学習 CD-ROM

発行予定部数:5,000 部 (RCCM 登録更新者に配布)

平成17年10月配布予定

以上

参考資料:業務引継資料 - 4 -

平成 19 年 8 月 27 日 インフラストラクチャー研究所

自主学習教材の確認方法について

確認手順は以下の3点となります。

- 1. チェック用プログラムのダウンロード
- 2. 「自習学習」の確認
- 3. 「演習問題」の確認

1. チェック用プログラムのダウンロード

- ①メイルに記載した場所より、チェック用プログラムのダウンロードをお願いいたします。
- ②ダウンロード頂きましたファイル (RCCM_kasen. 1zh) を解凍しますと、以下に示すファイルが生成されます。

RCCM kasen

├演習問題 (Q&A)

└自主学習(パワーポイントをベースに作成した教材)



参考資料:業務引継資料 - 5 -

資料-2

2. 「自習学習」の確認

『自主学習』フォルダに含まれる『07ksj.exe』をダブルクリックし、プログラムを 実行してください。自主学習が開始します。

なお、河川の単独プログラムのため、現状では『学習分野選択メニュー』および 『終了』ボタンは動作いたしません。

終了する際は、キーボードの「ESC」キーを押して終了してください。



チェック事項は以下の点をご参考にしてください。

- ・ナレーションにあわせてアンダーラインや赤枠の表示にズレがないか。 なお、アンダーラインは関連するナレーション終了まで表示、赤枠は"3回点滅" を共通の基本ルールとして作成しております。
- ・協会内で3度ほど誤字、脱字のチェックを行っておりますが、万一お気づきの点がありましたらご指摘下さい。
- ・参考資料へのリンクボタンや、全体を通じての動作をご確認下さい。

参考資料:業務引継資料 - 6 -

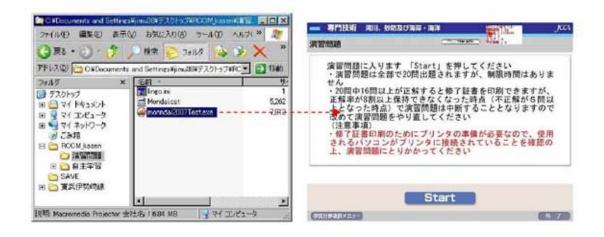
資料-2

3. 「演習問題」の確認

『演習問題』フォルダに含まれる『monndai2007Test.exe』をダブルクリックし、プログラムを実行してください。演習問題が開始します。

なお、自主学習と同様に、『学習分野選択メニュー』および『終了』ボタンは動作 いたしません。

終了する際は、キーボードの「ESC」キーを押して終了してください。



チェック事項は以下の点をご参考にしてください。

- ·全41 問中、20 問がランダムに表示されます。
- ・出題問題・選択肢が正しいか。
- ・正解に誤りはないか。右上にデバック用の小窓があります。正解の確認等にご活用下さい。
- ・協会内で3度ほど誤字、脱字のチェックを行っておりますが、万一お気づきの点がありましたらご指摘下さい。

以上

2008/7/10 文責: 丹羽

RCCM資格試験関連引継メモ

1. RCCM資格試験(児玉さん)

- ・実施日 : 本年度は平成20年11月9日に実施予定
- ・作業時間:7:00~18:30頃まで
- ・試験会場:札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡、那覇の7都市 担当する会場は現時点未定。希望都市があれば増田課長に申請
- ・作業内容:詳細は増田課長、児玉さんより毎年事前説明あり
 - ・会場の設営確認(立て看板、掲示物、弁当到着確認等)
 - 監督員への事前説明補助
 - 試験時間中の会場見回り
 - ・試験問題の回収、枚数確認、保管等の管理

2. RCCM管理委員会、試験委員会(増田課長、酒井課長)

- 年間5~6回程度の活動
- · 会場:日比谷公園内 松本楼
- ・作業時間:9:30~14:00頃まで
- 作業内容:
 - · 荷物運搬、会場設営
 - ICレコーダーによる録音、録音データの提供→増田課長
 - ・議事メモの作成、提出→増田課長
 - ・会議内で出た課題、宿題への対応(統計データの整理等)

参考資料:業務引継資料 - 8 -

文責: 丹羽

業務・研究発表会関連引継メモ

0. 概要

- ・発表会は午後から開始。 夕方 18 時頃から懇親会&表彰式
- ・今年は2会場で道路部門、河川部門をそれぞれ発表
- ・事前の論文審査はインフラ研幹事や技術委員会(友永委員長)が担当
- ・当日の審査委員長は中村英夫先生、審査員は各部門5名の合計10名
- ・インフラ研の作業:事前準備、当日の会場設営確認、採点集計、表彰 P P T 作成

1. 事前準備 (酒井課長)

- 作業内容:詳細は酒井課長に確認
 - 講演論文集の作成
 - ・概要説明 P P T 作成 (講師紹介、タイトル・発表者紹介)
 - 部門別概要説明PPT作成(発表論文のタイトル、発表者、時間)
 - ・採点プログラムの作成、計算確認

2. 当日作業 (酒井課長、インフラ研幹事、技術委員会)

- 実施日 : 本年度は平成20年7月30日(水)に実施予定
- ・作業時間:10:00~20:00頃まで
- 作業内容:詳細は事前準備会議等にて説明あり

【講演前】

- ・会場の設営(立て看板、掲示物、PC、プロジェクタ動作確認等) 会場は全部で3会場。
 - 1 F:基調講演
 - 5 F: 各部門の発表会場 2 会場(基調講演中に設置可)
- 会場の照明設備、録音装置等の確認

【講演中】

- 会場見回り、出席者・参加者の案内等
- ・表彰式の会場準備(立て看板、掲示物、PC、プロジェクタ動作確認等)

【講演後】

- ・採点票の回収 → 入力
- 審査会議への参加、採点票の編集
- · 表彰 P P T 作成
- 表彰式のPC操作

参考資料:業務引継資料 - 9 -

文責: 丹羽

インフラストラクチャー研究所の自主研究テーマについて

- 01. 井上研究員(平成16年7月~平成18年6月:ニュージェック) 「交通ネットワークの充実度(海外比較)や渋滞損失」
- 02. 中井研究員(平成16年7月~平成18年6月:日本工営) 「建設コンサルタント業における保険の活用」
- 03. 石塚研究員 (平成 16 年 8 月~平成 18 年 7 月: ドーコン) 「日本へのコンパクトシティの導入」
- 04. 小柳研究員(平成16年10月~平成19年3月:建設技術研究所) 「アセットマネジメントの実運用化について」
- 05. 鈴木研究員(平成18年7月~平成20年3月:ニュージェック) 「物流業界の活性化と効率化:共同配送について」
- 06. 山本研究員(平成18年7月~平成20年6月:日本工営) 「情報セキュリティの観点から見た業務に取り組む上での心構え」
- 07. 丹羽研究員(平成18年9月~平成20年8月:いであ) 「社会資本整備の充実度評価:都道府県別」

参考資料:業務引継資料 - 10 -

インフラストラクチャー研究所 年間活動内容

2008/7/9

活動内容	1.13	2.11	3.4	4.9	5.11	- Н9	7.71	8.11	9,8	10.1	ПП	12.8	美報 的	研究所	調が
質問交換会受付	•												総部	γ	
通常稳会受付					•								総部	¥	
経済セミケー参加		•											HH	27	B.加のみ
RCCMASTIR (監控指別)			- 会部発表						-		- 970%		光光	~	
RCCM管理委員会		₩.	160	• 35.1	● 方針会類				1	- XWIIIM			HBH	=	外部委員会
RCCI的數委員会		発生・								- px.se/miss			H 64	-	外部委員会
RCN更新署会補助										東京	更新課款金		災王	-<	
RCCM自主学習教材		・おはな		・成力会社は加	•	春花 ●春花	幸	ロンチンツ作成	1	77.8	金額線金		##	<	専門委員会と協働
業務研究発表会			のは、		報の報告・		報告簿	初き					共	04	技術委員会と協働
年次報告書			• itcét	4 件次									機能	4	
EQS研究会													指徵		
社会資本WG													極維	Y	
標準·契約約款													便班	_	
知的所有權(著作權)													46世	-	
PF1勉強会													所長	γ	
白楼第一章													所長	4	

常任委員会(主に第三本曜日) 常任理事会(主に第三本曜日) インフラ研究会議(定例報告会) 月例修項

: 会場設営、報告事項 : 会場設営、報告事項 : 所長への活動報告、その他 : 各種委員会に参加した場合 : 労組織(事務局: 諸井)

インフラ研用例会 各種委員会

・標準約款専門委員会、社会資本のあり方権討解、CD-ROM専門委員会

1,2:1~2名の参加 数字:参加人数 A:全員参加

参考資料:業務引継資料 - 11 -

文責: 丹羽

社会資本整備のあり方検討WG関連引継メモ

1. 概要・経緯

- ・企画部会-企画委員会のもとに組織されたWG。メンバーは企画委員会と同じ。
- ・WGの目的:社会資本整備のあり方を広く国民&発注者にアピール。
- ・アウトプット:建コン白書への掲載、パンフレット、リーフレット等を検討。※制作の簡便さ、修正の手軽さ、メッセージ性などからリーフレットに着地。
- ・制作、発行:平成18年3月頃から制作に着手。常任委員会、常任理事会等の諮問(2回)等を経て、平成20年4月に10,000部発行。
- ・フォローアップ:発行時に、協会の9支部役員に対してアンケート実施。 ※評価はおおむね良好。次期テーマについては「環境」に着地。

2. リーフレット案の検討、作成

- 作業内容:各サブWGリーダの指示により実施。
 - 紙面構成の企画、発案
 - ・写真、図表類の検索、入手
 - ・文章、図の配置検討(レイアウト、デザイン、場合により作図等)
 - 使用図表の著作権処理
 - ・レイアウト、印刷等の稟議決済等

見積依頼(2社)→決裁書起案→承認・発注→成果納品→請求処理(経理へ)

デザイン: 7.5 万@4 ページ 印刷: 35 万@10,000 部

3. 今後の展開や反省等

- 研究員は引き続き参画し、各委員をサポート。
- ・前回のリーフレット制作には2年近くかかった。迅速性が要求される。
- ・白書第一章の作成、検討も当WGと協働で実施する可能性がある。

関連データは以下の場所に収録

¥¥jcca01¥#インフラ研究所¥生命を守る¥

また、協会ホームページにも掲載

http://www.jcca.or.jp/message/index.html

参考資料:業務引継資料 - 12 -

洪水に対する備え

大何・はまから会を守るためには、は大計等権収を 整備するハード対策だけでは十分ではありません。高 道な破難を行うことや近隣住民が助け合うなどのソフト 対策も不可欠なのです。



非常時時出品リスト

発生活性・打造 住所分別 各分別刊書

85/5-

...

數

日ごろからの心器・準備

対性的いの声明打が発行しているハザードマップなどを利用し 校や公民様など、遊難場所として指定されている場所への避難料 の祖籍程数 を確認し、要扱から家族で避難場所や連絡方法などを話し合ってお

いざ、おいたかのために、「存業時時出基リスト」を使用して非常時 も出し品の用意・確認をしましょう。下でに持ち出せるように振伸するこ とが意思です

災害の時、最後に傾りになるのはあなた音音の目場の心御けです。

情報の入手先

ハデードマップ】 お近くの市町村投稿や、下記の第土交通者の総合研究情報ポータ イナマステマをます

http://www.anol.in/link-link-h-hazard-index.html [供应债物]

テレビ、ラジオの天気予報や、下記の発象庁のホームページで大手 できます。

http://www.insaus.in/inscholes.html

危険かな?と思ったらっすぐ祖籍

市区町村長は、災害の危険が近った地域の住民に対して「磁難動 告」や「避難指示」を行います。これらの指示は、防災無線・仕事率・消 防害などによって伝えられますが、自ら治域情報を入手するように認め

- いないよの味が高ったときには、迅速に行動しましょう。

- ・火の始末を含れずに。 ・遊離所・は大が引いてから移動。 ・湯った水の中を歩くときは、秋などをつら
- 車での遊離は治療・故障の可能性があるため適ける。



口質的用品 口質学のゴミ袋

大両・供水からあなたの生命を守る (1:40)

一社会産土製造工業に、 36.1 大製機を対したなりであるます。 36.2 大製ス等からたりのからできる。 16.2 大学をデンチャンを発生する 36.4 電視災害からたりたりを発生する。 泉 市 世間後人 建設コンサトランツ協会 URL 19世/(**ロット サロン・ロフス・東京都中の出江海南下 (単年: XY 大温客 Photo 002/2012/03/03 (まん 002/2017/04) 東 社会学工程庫の取り所検討 90 東 市 日本会学4 (4)

ΙCCΛ

JCC 社団法人建設コンサルタンツ協会

生命を守るための取り組み (Ma./) 社会資本監備を建して一

・洪水から

あなたの生命を守る

毎年どこかで発生している大雨・洪水被害

議会3年間 平成 16年~平成 18年 の主な洪水諸宗

REAL ENG.	\$1414	政策 行为不明度
NDS-122	#22 ESA	16.6
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	東北地下市開始 下	10.3.
137- 317-09-16-9	東京から4人とする事務	ECA.
1.4- 1. (FE) F	中国地大学中心が大会議	47.6.
13t- 31 a W 15 W	御名を中心とする金属	1 St.A.
	近畿 取開を中心とする金属	96.5
NET (27-12) 機能網絡に23大路	もがまたいしまとせた信仰	10.6
A 4- 1 - 2 14 14 15 15 15 15 15 15	大河、中国、初盟教育を中心と学生会議	28.6
#101 T.131ー 12 「株式的表に2.6.5.例	人の変力の心臓療験が	28.6
THE R PERSON	ANGE DAK	INA.







甲烯 14 年 7 月福州東南安東(京市) 李螺 性 耳 化自含基 計 有景觀用 出典 国土文通知所以取引

遥かな昔から取り組まれてきた洪水対策

わが盛の歴史は水害との願いの歴史であったといっても過ぎではありません

遥かな者から様々な論水対策事実が実施されてきました。それでも漢水対策が十分ならのになっていると は君之ません。これに加えて、近年は夏州の発生到数も増加しています。

わが傷の挟水対策は、まだまだ十分とはいえないのです。

個監督 (1547年 - 1580年間) (政策機 報告的代に、予養の別の領土、試験性素により集かれました。 た。予養の実では新足が発射が必要であり、また気化などによる被害も発生していたため、置発による機能性の会践地 表に連抜が集かれました。 工事は二十年は上に直んだといわれています。

安装を (1764年~1765年): 登紀、 株市、三里 大事の、元素の、光素のの大のは、 下沢田で会議・92 本書の、後春の、著名ののだかは、下沢田で会会・分別を 明り高し、たけれび大学を担じしていたから、江戸時代は 間、何度となり数を行われてきました。 「文章な大の後春日行われてきました。

echnnedt, fæiliddæeskelniede. Miski bespæntlæt.

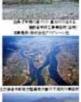
次列車金米線(1909年-1927年): 新規線 新提手等は、従業)や成党会がが選んでくる上級が収録 してできた予節であるため、土地が低く、大水保証が提発し でいました。この次水保管相談のため、日本場に対水を変 株式す大司庫分水路が適られました。 当時実オーの大工事と言われ、外国製及び深の新の最新 の建設機械が得いられました。

近年、特別市里 Since を終える Mar

要用が理知する傾向にあります。

の理解する意識の













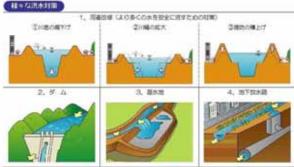
水地・技术路等の施設整備が遅れ CLASSINE STATES



大雨・洪水から生命を守るために

大用・換水から生命を守るためには、換水を氾濫させないことが何より意識になりますが、実際の河川で は、様々な対策の中から最適なものをはみ合わせて採用しています。

しかし、各種の決水対策はそれぞれに利害得免があり、何川の特性や地域の事情によっては採用できる ものとできないものとがあります。 このためは土対策は、河川ごとに総合的に判断して決定する必要があります。



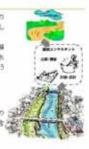
建設コンサルタントの役割

山地や平地に降った間は川に無まり、最終的に指まで到達しますが、川の 広さに対して多すぎる水量共流れてきた場合には、場防を溢れて氾濫してし 如 位十.

私たち建設コンサルタントは、降った用が指言で到着する一連の現象の解 析や、氾濫が発生した場合の予測を行ったりまで、環境に配慮しながら決水 対策事業の企画・課室・計画・設計を行っています。このとき、特に以下のよう な観点を変視しつつ洪水対策に助り組入でいます。

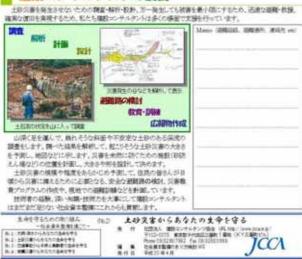
・数値的評価・効果や事業要等を計算して、数値的に評価しています ・総合的評価:対策素ごとの利害特先を考慮し、総合的に評価しています

また、洪大が旧唐したときの後大朝西や遊覧経路を示すハザードマップの また、例れられる 作成支援し行っており、ハードな施設による対策だけでなく、ソフトな対応も含 めた洪水対策で社会に貢献しています。



地球高度化やヒーナアイランド現象 AL などの影響も考えられることから、Ma 要用の地加減向が続く可能性があ UST. 本) 東京都内における時間商業50m 以上の最高を観測した観測 出点 東京都











土地内部により仕掛り生命または身体に発展が生じるおそれのある区域 土地内書館を区域の中で家庭が集れるなど者に、小途里が生じるおそれのある区域

身近な情報を集めて、活用しましょう(ソフト対策)

身近なソールを挟って、自分の地域の交通事故危険関所を把握しましょう。また、自分の目と足で 確証することも大切です。例えば、子供の目標で通学路を一緒に歩いて、危険な場所や安全確認が 必要な場所を見つけ、その傾由と安全な適行方法を教えてあけると良いでしょう。



連股コンサルタントは皆さんを守るお手伝いをしています

私たち建設コンサルタントは替さんの安全・安心確保のために、技術的にサポートします。 地域で生活しているみなさんの生の声を聞かせて下さい!



(94.3) 一社会資本製造を建て、 (): 本: 大野・満たがられなりをあります。 本: 大野・満たがられなりのあれます。 本: 大田八里かられなりのあれます。 本: 大田八里からから、大田一里かりのあるます。 本: 七里工書かられるしたのあまます。

交通事故から子供と高齢者の生命を守る

ICCA

プCC 社団法人 建設コンサルタンツ協会

生命を守るための取り組み (Me.J) 社会資本監備を建して一

の生命を守る









知っていますか?交通事故のこと

近年、交通事故死者数は減少し、44年本りに年間の千人を下回りました。(子成19年15.744人) また、交通事故の発生件数についても近年は減少傾向にあります。しかし、交通事故死者のうち、 特に交通報者(歩行者・自転車)が全体の約4額を占めています。





DA TEXAN, MAY

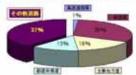
MEMBER (HALLY MEDIC (HALLY) CHA (H-HA)

歩行者・自転車事故の 約6割が高校生以下 と高齢者の事故です

交通事故は私たちの身近で起きています!

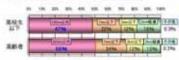
平叔17年 死亡事故件数

路線別 高校生以下と高齢者の死亡事故抖動



死亡事故の約4割が 身近な生活道路で 起きています

自宅からの距離別 歩行者・自転車の事故件数



歩行者・自転車事故の 約5割が自宅から 500m 以内で起きています

ER GERRY DETRAPATION - 14-1

歩行者協設の整備 タラ通 国道、都道府県道を中心とした歩道整備を 実施、最近 30 年間で一般道道の整備率は 30%種加しています。 中海製造車 -ATE IN THEFAS STREET STREET, STREET PATRO - PARKE, STREET

-0.0±id



しかし、悲しい交通事故が後を絶ちません・・

 交通事故ニュース ● 市町村道において交通報告 (子供、薬師会) の何亡事故が起きています。 (株玉県川口市戸塚東二丁甘> - 《英述商名川部1-0町東主席一丁首> 2007.8.18 福路状況・沖通 福路状況・沖通 三条路 信号ない 被募金(男性(7.3歳)1名元亡 加賀東高(東河県 2.3歳)1名元亡 加賀東高(東河県

-- (2004.3.25 -- < 心可透視障害の治>-

ハード対策とソフト対策を組み合わせた、更なる交通安全対策が求められます!!

子供と高齢者が安心して歩ける町づくり(ハード対策)

よく考えてみて下さい!地域住民のドライバーにとって快速な道路とは、同時に域外の貨物トラック・ 實際展開のドライバーにとっても快適な運路です。 印 動車運先から歩行者・日転車運先」の町ゴくリーへ発想転換することにより域外からの通道交通を減らし、地域の歩行者・自転車の車板の危険を軽減 きせることができます。

申両主行連接の抑制

バンブ・クランク・供きく カラー縁技者で運転者に模定的に耐塞巡セキ人ます。 物域的に連貫を出しにくい-連邦構造(福耳波ケ・投集) とし連貫時期を図ります。





☆か遠立所の確保 ・一方道行成制により準理経費を 細小し、歩道を結婚します。 ・ 担一ドレール・ラバーボールを 利用して歩行者・日 料果と日 事を物域的に分離します。

あなたは巨大地震から自分や家族を守れますか?

自分の会を守れますか? 京標や友人の安容をどうやって確認しますか? 提動が果るまでどのように適ごしますか? 連載所までどの様な経路で向かりますか?

地震はいつ起こるか予測が困難です。

○事前の準備が最も大切です

〇自宅や会社周辺、通知経路についての情報を通常 時に確認しておきましょう。

O自宅、関税先の制度性能を確認しておきましょう。 ○皆律から避難場所や家族との連絡方法などを話し 合っておきましょう。

○まず自宅に飲料水や非常食、特も出し袋などの非 常用品を準備しましょう。



連盟コンサルタントの役割

災害に強い振づくり ⇒鷹・緑地等の公共空地の展用。防災補助の構造と共に 遊難行動に必要な空間を確保出来、旧様建物例終行 考えても東河通行が可能となる。連路福祉の以上の禁 迅速時

避難時や緊急交通額とともに大きな延修連新者として の効果が見込まれる道路幅16m以上の軽線道路等 の基本安全館

を織り込んだ炎客に強い着づくりについて住民の方の意 見を開きながら、地域特性を考慮して計画・調査・設計を 行っています。

災害施力を結んでいます。

20. 洪寨基生時出江, 整色点接令洪寨東京鄉東較新江 経力し、災害の早期復旧・復興に貢献しています。

20 10 20 10	契書に強い仮づくり 整備イメージ
1	E.
A DE	
	學。
Series Ser	DARKSTORDING

RESERVED-112	した知会者の人物と物質
RHANGHER	6,5%,A, 109, T.16~ 9,10
ENRESTACE .	249 A 968 129~ 630
NUNTERS	23,277 A. WA 16.23~12.30

一位を東土管理を建立。 加1.大脚構造がしたなれて出来させる 加2.大脚構造がしたなれて出来させる 加2.大脚構造がしたなれる場合である。 12.大脚構造がしたのでは、 2.大脚構造がしたのでは、 2.大脚構造をしたのでは、 2.大脚構造をしたのでは、 2.大脚構造をしたのでは、 2.大脚構造をしたのでは、 2.大脚構造をしたのでは、 2.大脚構造をしたのでは、 2.大脚構造をしたのでは、 2.大脚構造をしたのでは、 3.大脚構造をしたのでは、 4.大脚構造をしたのでは、 4.大脚構造をしたので 4.大脚構造をしたので 4.大脚構造をしたので 4.大脚構造をしたので 4.大脚構造をしたので 4.大脚構造をしたので 4.大脚構造をしたので 4.大

地震実富からあなたの生命を守る

お 世間出入 温度コンサルサンツ語会 URL http://www. デ103-0078 東京都平的回位工業和1億年3KY工業 Powe 082296.78% Fax DK2297.79回 第 社会東京集集の元を万株計200 行 図 単位公44月



	PLOSHACLERS
RHANGAGE	6.5%,A 108. T.16~ 9.10
THREE PARK	2-09-A 968-329-3-30
RESTREE	23, 274 A. (80. 16.23~(2.30)

ICCA

JCC 社団法人建設コンサルタンツ協会

生命を守るための取り組み (No.4) 社会資本整備を通じて一

なたの生命を守る

世界有数の"地震大国"日本

今後 50 年以内に「首都直下地震」「東南海・南海地震」は 80~90%。「宮城県沖 地震」は今後30年以内に99%の確率でそれぞれ発生すると予想されています。

***** . . . P (0.00) **中央で発行する(アミル教としょう)**





·成7年1月 斯特·加強大量災(兵庫県)の研究状況 平成 19 年7月 新潟馬中組中地震の祖交状況 出血 全体系十十名

地震に強い国土"をつくっています

日本で今行われている対策・対応を紹介します。

1. 建物・構造物の耐震性強化

○余るべき拡大地震にも対応できる機 さを目指しています。

〇既存の博物や連絡・鉄道など公共性 の高いものから耐無補強を行ってい

○新しい構造物は新しい基準で造られ ており、十分な強さをもっています。



2. 地震動わよび発生の下層

○経験的手術から機論的手術まで様々な方法により、種 度の高い地震動化予測できます。

○地質の発生予想についても研究が進められています。

3. 地震発生時の緊急避難施勢の整備

○遊艇協所の耐たな整備や、荷宅団難者の一次遊難協

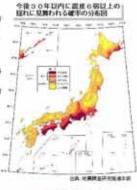
○遊覧場所と連携し、会科や飲料水の保管基地を整備 しています。





SA THRESPECTOR

4. 復用のための支援計画 ○地震発生後の復出計画についても、事前に前接等を 行い、迅速な対応が出来るよう準備されています。



しかし、本当に強い国土 づくりは、まだまだ十分 ではありません。

地震"減災"へ向けての取り組み

1. 人形解害

地震の発生をコントロールすることは出来ませんが、被害を抑えるための手を打っこと

"減災対策"はすぐにでも始められ、人への被害軽減に大きな効果を挙げることが出来ます。

受災目標・・・今後10年間で、新定災者数を手腕する 日体的目標 約11,000人 → 約5,600人[地震動:東京流北部地震]

(1) 作字・維護物の影響の (1) 配票存集 TSN -- 00% (2) 家具の選択 (1) 単基の確定化 85 20% -- 80% (3) 密集市街地の整備 (3) 干燥链线率 40%以上 (4) INBUSTRATION F (4) 自主効災組織事 72.5% -+ 98% (5) 無規制性の指揮による (5) 無規則地與建改体整門の対策 天実から保全される戸数約1.1億 出典 内間のカースパーン「自然度下を集りを集除り始めっち

2. 日初初高

減災対策を指率よく。うまく実施していくことで、延済的な援手を大きく減らすことが出来ます。

(1) 報告報送運路の標準の耐質値化

(1) 耐震線化淬型の軽調 (3) 企業による事業組続

(1) 使来からの施育により離れ完了 (2) 整備率 約55% → 約70% (2) 事業総統計画(おCP甲)の原定促進

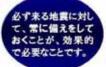
学事業を持計事計。west Contents Plant立義が極大、でも重要事業を挙がって、大いこを新してい 可能があり起発で再開させて、企業に対する報告を表し切ったいとのも過度解析。 出来で使用ラーシーンが非常までを表しません。

ロ、減災へ向けてのさらなる対策。

地質・大災による被害の軽減のため、年間 4,600 億円程度の事業がなされます

- 〇密集市総地の無色整備
- ○安全輸送路の構造制無構発36年プログラムに基づく 取起等運路の防災・横災対策の推進 ○官庁掲載の酢菓対策の推進
- ○連携における大規模が繋が等の接通
- ○地南における大阪地と振り高が北地 の地震的反対策等化が被等における製造準波対策 ○地震観測体制の抽化○日本協議・千島後業地無観測体制の抽化

10年間、同規模で事業を行うと発生する費用 4兆6千億円



< 減災効果 約42兆円

共長 関ラケスをカーシバージ